

2019年12月16日
商工中金

網膜走査型レーザアイウェアを開発し、新たな視覚補助の方法を提案する 株式会社 QD レーザ様に対して 10 億円の融資契約を締結

商工中金は、事業性の判断が難しく、収益化に時間を要する分野に取り組む中小企業の皆さまを、関係機関と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（上野支店）は、株式会社 QD レーザ様（本社：神奈川県川崎市、代表者：菅原充氏）に、網膜走査型レーザアイウェアの開発及び事業化に必要な資金として、10 億円のコミットメントライン契約を締結しました。

同社は、富士通株式会社からのスピンオフベンチャーで、富士通と東京大学との 10 年以上に渡る共同開発をもとに、量子ドットレーザをはじめとする、多様な波長の高性能半導体レーザを開発・製造しています。

同社が半導体レーザの技術を活用して開発した網膜走査型レーザアイウェア[®]RETISSA Display は、眼鏡型のフレームに内蔵された超小型プロジェクタから網膜に直接映像を投影するヘッドマウントディスプレイです。投影された映像はユーザのピント位置や視力の影響を受けにくく、メガネやコンタクトレンズによる矯正を必要とせずに映像を視聴することができます。

また、今後は、当該技術を小型カメラと組み合わせることで、リアルタイムの映像が見られる医療機器を展開する予定であり、不正乱視など眼球前側の疾患に対する視覚補助手段として、ロービジョン者の生活改善が期待されています。

商工中金は、同社の取組みが、人々の暮らしの改善や新たな需要創出に貢献するものと考え、関係機関と連携しつつ、事業性評価に基づく融資契約を締結しました。

商工中金は、創業ステージにある中小企業の皆さまの支援を通じ、経済の発展に貢献してまいります。

※なお、網膜走査型レーザアイウェアの技術開発では、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構によるクリーンデバイス社会実装推進事業、平成 27 年度課題解決型福祉用具実用化開発支援事業等の支援を受けています。

【株式会社 QD レーザ様の概要】

所在地	神奈川県川崎市川崎区南渡田町 1-1	資本金	7 億 6331 万円
代表者	菅原 充様	従業員数	68 名 (2019 年 9 月現在)
業種	レーザデバイスの開発・製造	設立	2006 年 4 月